

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス・アニマート桐生みどり		
○保護者評価実施期間	令和7年9月5日 ～ 令和7年9月19日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数) 人
○従業者評価実施期間	令和7年9月5日 ～ 令和7年9月19日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数) 11人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士の意見交換のしやすい環境	日頃からお互いの困り事等を声を掛け合っている。	人間関係の良好を継続して為普段から、コミュニケーションを図っていく。
2	1人ひとりの児童のペースで過ごせるようになっている。	・児童の意思を尊重することができている。 ・一人ひとりに合わせた取組を職員間で日々統一している。 ・児童の力が発揮できるような取組ができている。	・訴えられない児童にももっと向き合える時間を作れるとい いのでは。 ・職員のスキルアップの為に、内部研修の充実を図る。
3	・理念に沿った支援ができている ・安全に対する意識が強い。	・遊びを通して支援を行うことで児童や職員が楽しく過ごせている。 ・報連相の徹底・支援者側の声のトーンを意識することで児童に伝わりやすい。	・楽しく過ごせるように左記のこと継続していく。 ・ヒヤリハットの活用。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の仕方で統一が図れていない面もあり。	・経験値もあることと、1人ひとりの取組み方	・一人一人のスキルアップ 。内部研修の充実を図る。
2	勤務形態によって申し送りが難しい。	書面と口頭で申し送りを行っているが、日々、児童の様子はかわるのでどのように周知できるか。	・職員で話し合いを行う。 ・申し送りノートの周知。
3	活動の成果や成長の「見える」かが難しいのでは。	今、できないことに注目しがち	・1人ひとりの「できた」に注目を行っていく ・内部研修の充実化